

木造千手観音立像

指定区分	国指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうせんじゅかんのんりゅうぞう
所在地	瀬戸内市邑久町豊原 大賀島寺
指定年月日	平成23年6月27日
解説	平安時代初期に造られた千手観音像である。奈良時代の僧侶報恩大師が開いたという伝承をもつ大賀島寺の本尊で、秘仏として伝えられてきた。深く鋭い彫り口、眉が隆起し口を強く引き結んで厳しい表情を示す面貌の表現、着衣の複雑で動きのある構成などに、9世紀前半頃の特徴を顕著にみせる。平安時代初期彫像の優品として貴重である。
アクセス方法	
公開状況	非公開
設備	
備考	